

地球環境局地球温暖化対策課市場メカニズム室

1．事業の概要

鳩山総理が、中期目標の達成のために国内排出量取引制度の導入等を表明されたことを受け、キャップ・アンド・トレード方式による国内排出量取引制度の本格導入に向けた準備が急務となっている。このため、制度設計の具体化とあわせて必要となる、制度の円滑な運営を支えるシステムの在り方について、調査・検討を行う。

その際、自主参加型国内排出量取引制度（以下「J V E T S」という。）を含む排出量取引の国内統合市場の試行的実施（以下「試行実施」という。）等の既存の電子システムの着実かつ円滑な運営等により、経験・知見の更なる蓄積を図り、上記の調査・検討に活かす。

2．事業計画

キャップ・アンド・トレード方式による国内排出量取引制度の円滑な運営を支えるシステムの在り方について、J V E T Sを含む試行実施のシステム運用等を行いつつ、そこで得られた経験・知見も踏まえ、詳細な調査・検討を行う。

<主な調査内容>

- ・各対象事業者の温室効果ガス排出量の算定・報告、検証を円滑に行うためのシステムの在り方
 - ・排出枠の取引を安全かつ円滑に行うためのシステムの在り方
 - ・その他システムとの連携の在り方
- 等

3．施策の効果

J V E T Sを含む試行実施に関するシステムの円滑な運営等を通じ更なる経験・知見の蓄積を図りながら、キャップ・アンド・トレード方式による国内排出量取引制度を支える今後のシステム構築を図る。

国内排出量取引制度導入準備経費

キャップ・アンド・トレード方式による国内排出量取引制度の本格導入に向けて、制度の円滑な運用に必要な電子システムの在り方について調査・検討。

JVETSを含む試行実施等、既存の電子システムの運用等を実施。

< 電子システムの在り方のイメージ >

